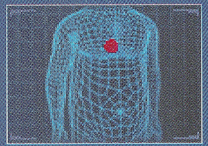
STORY 4-8



手術No22

次なる一手

患者 日比谷克己
TIME LIMIT 05:00:00

新薬ナノマシンを直接投与し、ペンプティの遺伝子組換えを行なう。薬効が現われ、ペンプティの体組織に十分な縮小効果が認められた場合、周囲の肺組織ごとギルスを切除、摘出すること。

1 注射器でナノマシンをモヤに投与

ペーストの下を動き回るモヤにナノマシンを投与すると、ペーストが1段階縮小されるので、これを3回繰り返し、ペーストを最小限にまで縮小させる。

2 レーザーでデキモノを焼却

デキモノは焼却しなくてもクリアはできる。ただし、デキモノの数が増えればその分バイタルの低下が激しくなる。速やかに処置を行なえるようになってきたら、2、3の手順を抜き、1、4、1、4、5の順に処置を行なうことで時間短縮ができる。

3 ヒールゼリーでレーザー痕を治療

1の処置の合間に、2、3を行なってもいい。なお、4の処置に入るまえにここでバイタルを上げておくのだが、ペーストに回復剤を打つとミスになってしまう。回復剤は、患者の外皮や肺に打つこと。

4 レーザーで核を焼却

核の焼却が完了すると、再び1の状態まで戻ってしまう。再度1～4の処置を繰り返そう。

5 メスで核を切除

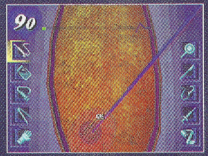
6 ピンセットで核を摘出



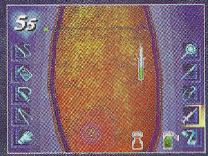
1
ナノマシンは注射器1本分を一気にモヤに投与しなければ、その効果が発揮されない。



2、3
ピンクの小さなデキモノをレーザーで焼却するとレーザー痕ができる。ヒールゼリーで治療しよう。



4a
OK!がでるまでレーザーを当て続ける。レーザーの残量がマックスの状態から照射したほうがいい。



4b
デキモノを焼却していればバイタルは下がらない。このスキに下がったバイタルを上げておこう。

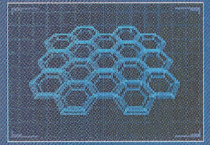


5
切開マーカーがでたらすぐに切開すること。時間がたつとペーストが復活し、1からやり直すことに。



6
核を摘出すると再びペーストが復活してしまうが、この手術はこれにて終了。閉創に入る。

STORY 4-9



手術No23

新型レーザー開発

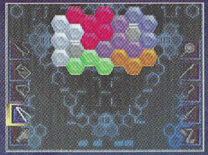
患者 HEXA02
TIME LIMIT —

ペンプティ駆逐のための新型医療機器開発協力。見本の形になるよう用意されたピースをはめ込み、新型医療機器の基盤を作る。

1 ピンセットでピースを摘み、台座に移す

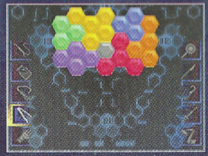
今回の新型レーザー開発では、2問のパズルを完成させなくてはならない。





1a
上の写真が1問目の見本。6個のピースを台座にはめ込み、下の写真のように配置しよう。





1b
こちらは2問目の見本とその回答。こちらも6個のピースを下の写真のように台座にはめ込もう。



1c
時間がかかると手術No21と同様に上画面のメッセージが変わるが、スコシきびしいことをいわれるぞ。